4-108-411-**04** (1)

SONY

SRS-NWGM30

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

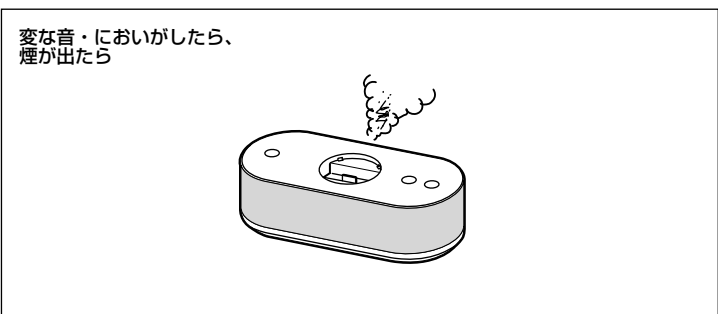
定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはお近くのソニーサービスの窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. 電源を切る
2. ACパワーアダプターや乾電池を抜く
3. USBケーブルを抜く
4. ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

⚠危険　下記の注意事項を守らないと **火災・感電・発熱・発火**により **死亡**や**大けが**の原因となります。

火災　感電

指定以外のACパワーアダプターを使わない

必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。
破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

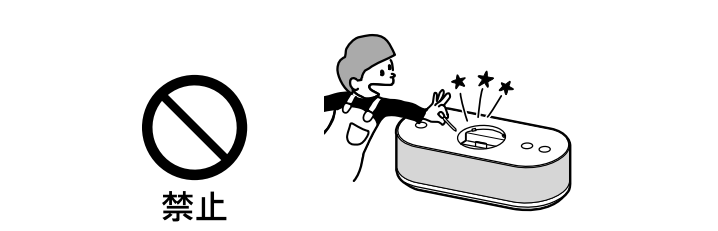
禁止

⚠警告　下記の注意事項を守らないと **火災・感電**により **大けが**の原因となります。

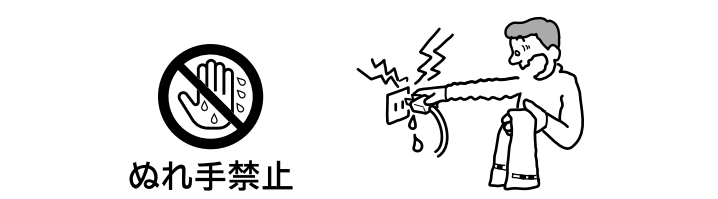
火災　感電

内部に水や異物を入れない

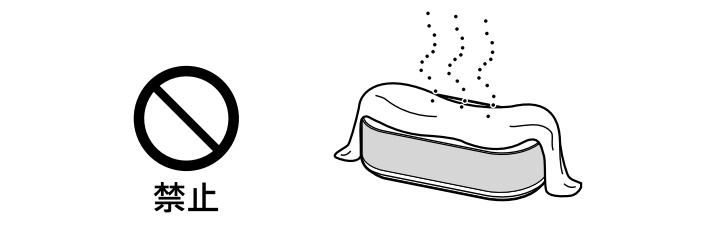
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや乾電池を抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口、お近くのソニーサービスの窓口にご相談ください。

禁止

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

湿気や埃、油、煙、湿気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となります。

端子を金属でショートさせない

火災や感電の原因となります。

禁止

⚠注意　下記の注意事項を守らないと **けが**をしたり周辺の**家財**に **損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。

禁止

長時間使用しないときはACパワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

指定以外の機器に使わない

火災やけがの原因となります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となります。

禁止

コード類は正しく配置する

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。
電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン型電池、乾電池

リチウム電池CR2025、単3形アルカリ、単3形マンガン

⚠危険

ボタン型電池が液漏れしたとき

ボタン型電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはお近くのソニーサービスの窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：
付属のACパワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント（AC 100 - 240 V）につないでお使いください。

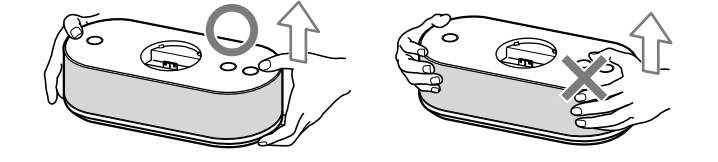
ACパワーアダプターについて：
ACパワーアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずACパワーアダプターを持って抜いてください。

留守にするときは：
本機の I/⏻ ボタンをスタンバイにしただけでは、電源は完全に切れていません。
ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ずACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

異物について：
特に、ジャック部には異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：
万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐにACパワーアダプターを抜き、ソニーの相談窓口、お近くのソニーサービスの窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
  - 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 風呂場など、湿気の多い所。
  - ほこりの多い所、砂地の上。
  - 時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、イラストのように本体の上面と底面を持ってください。本体の側面を持たないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型（JEITA*）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15 ～ 30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

主な仕様

スピーカー部

型式	フルレンジバスレフ型防磁型（JEITA*）
使用スピーカー	直径 40 mm
インピーダンス	4 Ω
定格入力	2.5 W
最大入力	5 W

アンプ部

実効出力	2 W+2 W（全高調波歪10 %、1 kHz、4 Ω）（ACパワーアダプター使用時）（JEITA*）
入力インピーダンス	WM-PORT（22ピン）10 kΩ以上（1 kHz） ステレオミニジャック 4.7 kΩ以上（1 kHz）

電源部・その他

電源	単3形乾電池3本、DC5.2 V 2 A （付属のACパワーアダプターを接続して AC100 - 240 V 電源から使用）
入出力端子	WM-PORT（22ピン） コネクター× 1 WM-PORT（22ピン） ジャック× 1 DC IN× 1 ステレオミニジャック× 1
最大外形寸法	約210 × 63 × 94 mm （幅／高さ／奥行き）
質量	約450 g
付属品	ACパワーアダプター（1） ACパワーコード（1） リモコン（1） リチウム電池CR2025（1） （リモコン装着済：お試し用） 取扱説明書（1） 保証書（1）

対応機種（"ウォークマン"）

WM-PORT（22ピン）搭載
丸型（直径55mm）の専用アタッチメント付属

別売りアクセサリー

録音用ケーブル	WMC-NWR1 （ステレオミニプラグ ⟷ WMPORT（22ピン）コネクター）
プラグアダプター	PC-234HS （ステレオ標準プラグ ⟷ ステレオミニジャック）
接続コード	RK-G22 （ステレオ標準プラグ ⟷ ステレオミニプラグ）（1.5m） RK-G136

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITAは（電子情報技術産業協会）の略称です。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには ⇨ "ウォークマン" カスタマーサポート（http://www.sony.co.jp/walkman-support/）
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
- 電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
- 型名：SRS-NWGM30
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「301」＋「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389
受付時間 月～金:9:00～20:00　土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

商標

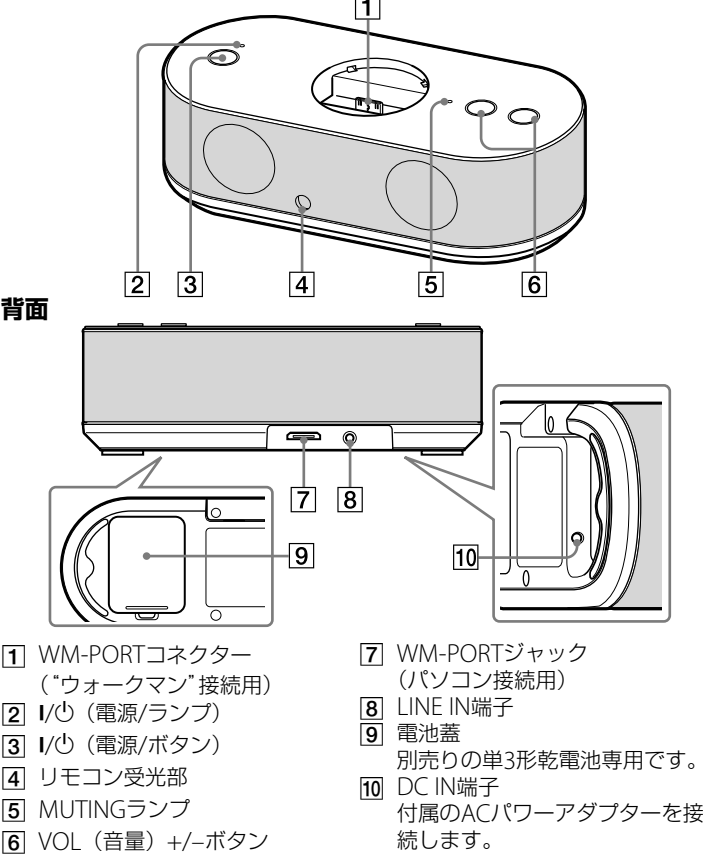
"ウォークマン"、"WALKMAN"、WALKMANロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

各部のなまえ

前面

背面

1. WM-PORTコネクター（"ウォークマン"接続用）
2. I/⏻（電源/ランプ）
3. I/⏻（電源/ボタン）
4. リモコン受光部
5. MUTINGランプ
6. VOL（音量）+/–ボタン
7. WM-PORTジャック（パソコン接続用）
8. LINE IN端子
9. 電池蓋
   別売りの単3形乾電池専用です。
10. DC IN端子
    付属のACパワーアダプターを接続します。

リモコン

1. ⏮⏭（頭出し）ボタン
2. ▶II（再生/一時停止）ボタン
3. ◀◀▶▶（早送り/巻戻し）ボタン
4. ■（停止）ボタン
5. MUTING（消音）ボタン
6. I/⏻（電源/スタンバイ）ボタン
7. VOL（音量）+/– ボタン

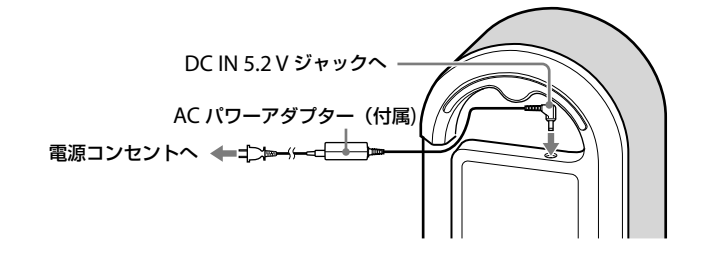
ご注意

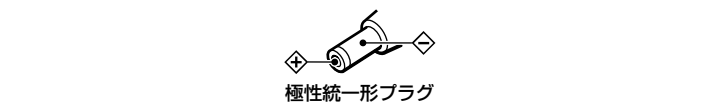
- リモコンの一部の動作は、お使いの"ウォークマン"の仕様によっては、表示と異なった操作できない場合があります。
- 本機で単3形電池を使用した場合、リモコンによる電源ONの操作はできません。電源をONにするときは、本体の電源ボタンをご使用ください。

電源について

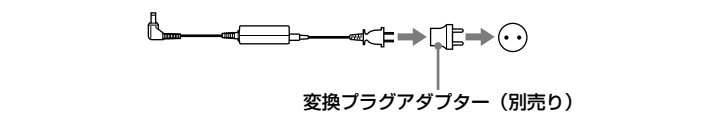
本機は、付属のACパワーアダプターを家庭用コンセントに接続、または別売りの単3 形乾電池3本を入れて使える2電源方式です。本機をお使いになる状況に応じて、電源方式をお選びください。

電源コンセントに接続して使う場合

付属のACパワーアダプターを本機に接続します。本機にAC パワーアダプターを接続すると、乾電池が入っていても自動的にコンセントからの電源に切り換わります。

ご注意

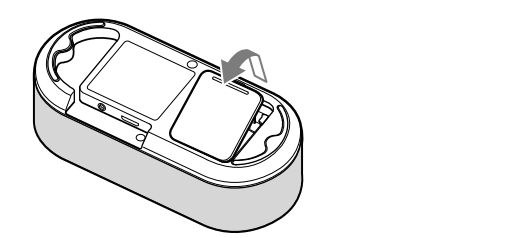
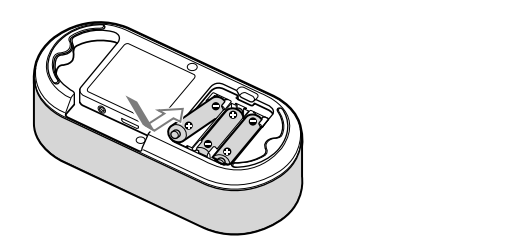
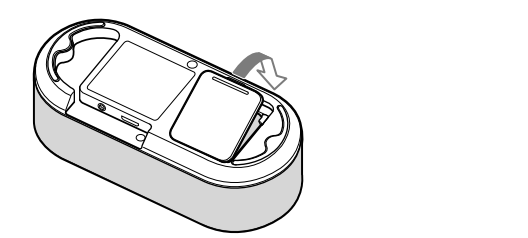
- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。付属以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
- ACパワーアダプターは本機から充分離してご使用ください。

海外で使うときは

付属のACパワーアダプターは、AC100－240V、50/60 Hz の範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源でお使いできます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前に旅行代理店などでお確かめください。

ご注意

海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器（トラベルコンバーター）」などはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

別売りの単3形乾電池を使う場合

1 スピーカーの底面にある電池のふたの上部を軽く押しながら開ける。

2 別売りの単3形乾電池を入れる。

3 電池のふたを閉じる。

乾電池の持続時間

（5 mW + 5 mW出力時）

電池の種類	持続時間
ソニー単3形アルカリ乾電池 LR6（SG）	約20 時間*
ソニー単3形マンガン乾電池R6P	約6 時間*

* 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

乾電池の交換時期

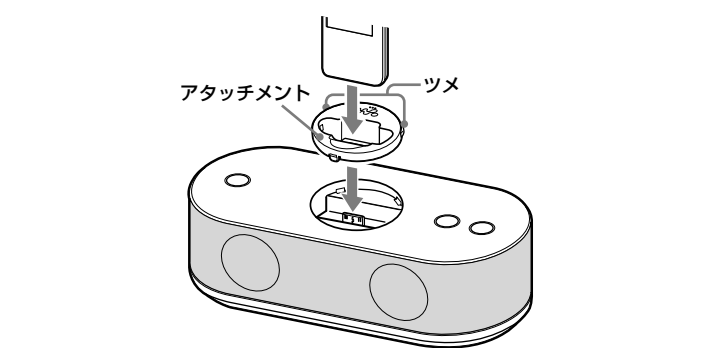
別売りの単3形電池を使う場合、電池の残量が少なくなると、I/⏻ランプが点滅し始めます。I/⏻ランプが点滅し始めたら、お早めに新しいものと交換してください。

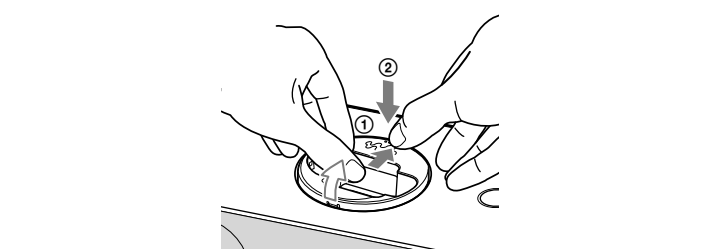
準備する

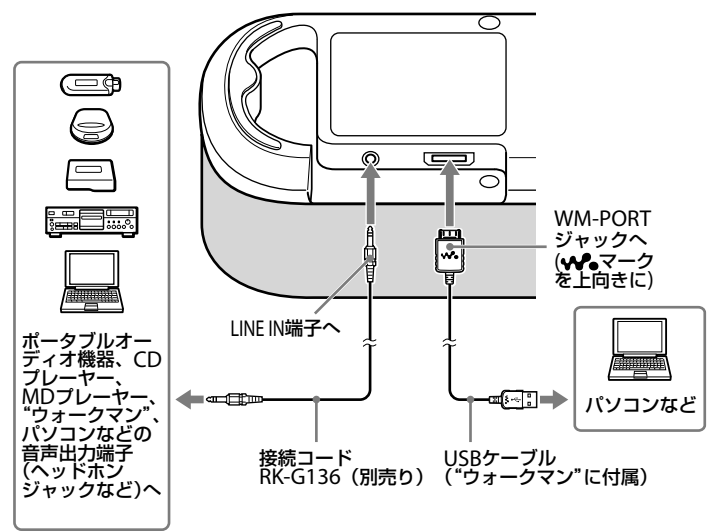
"ウォークマン"を接続する

本機に"ウォークマン"を接続するときは、お使いの"ウォークマン"に付属のアタッチメント*をセットしてご使用ください。

アタッチメントの取り付けかた

アタッチメントを取り付けるには、アタッチメントのロゴマーク側にある2ヵ所のツメをスピーカーの穴の位置に合わせて先にはめ込んでからロゴマークの反対側を指で押し込みます。
* お使いの"ウォークマン"によってアタッチメントの形状が異なります。

💡ヒント

- 以下の条件を満たす"ウォークマン"で、ご利用になれます。
  - WM-PORT（22ピン）搭載
  - 丸形（直径55mm）の専用アタッチメント付属
- アタッチメントを取りはずすには、イラストのようにアタッチメントの凹み部分をスピーカー背面側に強く押しながら（①）、マーク（○ ○ ○）の位置を上から強く押します（②）。

その他の機器と接続する

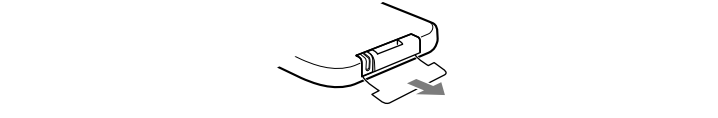
本機に接続した機器の音声を再生する場合や"ウォークマン"にデータ転送する場合は、以下の接続を行ってください。

標準タイプのヘッドホンジャック（カセットデッキなど）に接続するには

別売りの接続コードRK-G22または別売りの接続コードRK-G136およびプラグアダプター PC-234HSをお使いください。

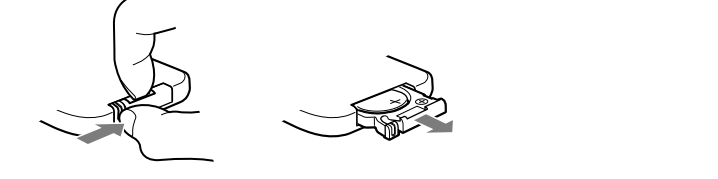
ご注意

- 本機のWM-PORTコネクターに"ウォークマン"を取り付けたまま持ち運ばないでください。故障や事故の原因になります。
- "ウォークマン"をスピーカーの奥までしっかりと挿し込んでください。

リモコンの準備をする

リモコンの準備をするときは、絶縁シートを引き抜いてリモコンを使用できる状態にしてください。
リモコンには電池がすでに入っています。

電池の交換について

電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。
下記の手順で、電池を新しいものと交換してください。
ふつうの使い方で約6 ヶ月もちます。

1 電池ケースの溝に爪の先を入れて引き出す。

2 ＋と書かれた面を上にしてリチウム電池CR2025を新しい電池と取り換える。

3 電池ケースを元に戻す。

ご注意

- リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

接続した機器を再生する

1 本機とパソコンを接続している場合は、USBケーブルをはずす。またはパソコンの電源をOFFにする。

ご注意
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しているときは、WM-PORTコネクターに取り付けた"ウォークマン"の音声は再生されません。
- お使いのパソコンの仕様によっては電源をOFFにしても、"ウォークマン"の音声が再生されない場合があります。
- LINE IN端子に取り付けた機器の音声は再生されます。

2 本機のI/⏻ボタンを押してONにする。
I/⏻ランプが点灯します。

3 接続した機器を再生する。

💡ヒント
本機のWM-PORTコネクターに取り付けた"ウォークマン"は、本機付属リモコンから操作することができます。

4 音量を調整する。
本機のVOLUME +/– ボタンで調整します。

ご注意
音量を最小または最大にしたときは、「ピピッ」というビープ音が聞こえます。

5 使用後はI/⏻ボタンを押してOFFにする。
I/⏻ランプが消灯します。
本機のWM-PORTコネクターに取り付けた"ウォークマン"が再生中の場合、自動的に停止もしくは一時停止*になります。
* ご使用の"ウォークマン"によって動作が異なります

ご注意
- ラジオまたはチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオ放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- 接続する機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると、音がひずむことがあります。
- ヘッドホンジャックがLINE OUT端子を兼用している機器に接続した場合は、接続機器の出力をLINE OUT出力に設定することで、より高音質でお楽しみいただけます。出力設定の操作について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- WM-PORTコネクターに取り付けた"ウォークマン"とLINE IN端子に接続した機器の両方を同時に再生すると、音が混ざって聞こえます。
- 本機とパソコンを接続するUSBケーブルは、"ウォークマン"のデータ転送と充電用です。パソコンの音声を本機で再生するときは、LINE IN端子に接続してください。
- 本機のWM-PORTコネクターに"ウォークマン"を取り付けた場合、"ウォークマン"内の音声レベルが大きいと、スピーカーから出力される音声のイコライザー効果が弱くなる場合があります。
- 本機のWM-PORTコネクターに"ウォークマン"を取り付けた場合、"ウォークマン"のヘッドホンジャックから音声は出力されません。

"ウォークマン"に充電する

本機にACパワーアダプター（付属）を接続しているとき、もしくは本機とパソコンをUSBケーブル（"ウォークマン"に付属）で接続しているときは、WM-PORTコネクターに取り付けた"ウォークマン"を充電できます。

ご注意

- "ウォークマン"をスピーカーの奥までしっかりと挿し込んでください。
- 充電状態、設定について詳しくは、"ウォークマン"本体の操作ガイドをご覧ください。
- 再生と充電を同時に行うことができます。再生中の充電時間は長くなります。
- ACパワーアダプターとUSB接続での充電時間は異なります。詳しくは、"ウォークマン"本体の操作ガイドをご覧ください。
- 電池を使用した場合、充電機能はありません。

"ウォークマン"とパソコンの間でデータを転送する

本機とパソコンをUSBケーブル（"ウォークマン"に付属）で接続しているときは、本機のWM-PORTコネクターに取り付けた"ウォークマン"とパソコンの間でデータを転送できます。転送方法について詳しくは、お使いの"ウォークマン"の操作ガイドをご覧ください。

ご注意

- パソコンからデータ転送中に、"ウォークマン"がスピーカーからはずれた場合は、"ウォークマン"をもう一度スピーカーに取り付け、転送をやり直してください。
- パソコンからデータ転送中は、USBケーブルやACパワーアダプターの抜き差しをしないでください。パソコンが"ウォークマン"本体を認識できなくなったり、データ転送が中断する場合があります。
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しているときは、WM-PORTコネクターに取り付けた"ウォークマン"の音声は再生されません。LINE IN端子に取り付けた機器の音声は再生されます。

"ウォークマン"に録音する

本機はダイレクトエンコーディング機能を搭載しており、WM-PORTジャックに別売りの録音用ケーブル（WMC-NWR1）を使ってCDプレーヤーなどの音楽再生機器を接続し、本機のWM-PORTコネクターに取り付けた"ウォークマン"*に録音することができます。
* WM-PORT（22ピン）と録音機能が搭載されている"ウォークマン"に限ります。

ご注意

- 本機の電源がOFFの場合、録音することはできません。
- 録音方法について詳しくは、"ウォークマン"の操作ガイドをご覧ください。
- LINE IN 端子からの音声は録音できません。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
	接続した機器のバスブースト機能を使用している。	バスブースト機能を解除する。
	接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。	接続した機器のLINE OUT端子に接続する。 またはLINE OUT出力に設定する。
	"ウォークマン"のWM-PORTジャックまたは入力コードがしっかり接続されていない。	いったんはずして接続し直す。
	テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。
	乾電池で使用している場合、乾電池が消耗している。	乾電池を3 本とも新しいものと交換する。
音が小さい、または音が出ない	I/⏻ ボタンがOFFになっている。	I/⏻ ボタンをONにする。
	VOLUME +/– ボタンが最小に絞られている。	VOLUME +/– ボタンで調節する。
	"ウォークマン"のWM-PORTジャックまたは入力コードがしっかり接続されていない。	いったんはずして接続し直す。
	入力信号が小さすぎる。	ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。
	スピーカーとパソコンをUSBケーブルで接続している。	USBケーブルをはずす。またはパソコンの電源をOFFにする。
リモコンで操作できない	スピーカーから離れすぎている。	リモコン受光部に近づけて操作する。
	スピーカーのリモコン受光部の前に障害物が置いてある。	リモコン受光部の前から障害物を取り除く。
	スピーカーのリモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっている。	リモコン受光部に光が当たらないようにする。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換する。
リモコンに電池が入らない（きつい）	電池を逆に挿入できない構造になっています。	極性（+/–）を確認して正しく入れてください。
I/⏻ ランプがちらつく	音量を上げたときにI/⏻ ランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。	
"WALKMAN"にヘッドホンを接続しているのに、ラジオが受信できない。	本機および"WALKMAN"のヘッドホンをACパワーアダプターから充分離してご使用ください*。	

* ご使用の"ウォークマン"の機種により、本機を"ウォークマン"に接続しているときにはヘッドホンを接続できないことがあります。ただし、FMチューナー搭載の"ウォークマン"でFM放送を聞くときは、必ずヘッドホンを"ウォークマン"に接続してください。ヘッドホンコードがアンテナとして働くため、接続していないと放送が受信できません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。